

科目コード	E2205	科目名	体育方法学・実習（バレーボール）				
履修区分	教育課程表参照	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	富永 梨紗子						
授業の概要	バレーボールの特性と魅力を理解するとともに、基礎的技能から応用技術までを段階的・系統的に習得する。また、競技ルールに加え、指導者として求められる多角的な指導法や、審判法・大会運営についても実践を通じて学ぶ。授業の後半ではソフトバレーボールの特性やルールにも触れ、対象に合わせた指導の在り方を探究する。なお、毎回の授業においてグループワーク等の「学び合い」を取り入れ、自己および他者の課題解決を図るとともに、振り返りを通して指導実践能力の定着を目指す。						
DPとの関連	平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける						
	人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける						
	修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける						
	教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける						
	社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力						
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	<p>技能・知識の習得：バレーボールおよびソフトバレーボールの特性を理解し、基本的な技能（パス、サーブ、スパイク等）を実演できる。</p> <p>指導法の理解：初心者や学習者の技能レベルに応じた、段階的・系統的な練習方法や指導のポイントを説明できる。</p> <p>運営・審判能力：競技規則（ルール）を正しく理解し、公式審判法に基づいた判定および円滑なゲーム運営（大会運営）ができる。</p> <p>態度・協働性：グループワークや相互観察を通して、他者の課題を発見し、建設的なフィードバックを行うことができる。（コミュニケーション能力）</p>						
履修上の注意事項	ユニフォームの指定は特にないが、必ず、体操着（スポーツウエア）に更衣し、体育館シューズに履き替えて出席すること。ジーンズ等、運動に相応しくない服装での参加は不可とする。タオル、飲み物等は、必要に応じてあらかじめ各自で用意しておくこと。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修		
	1	授業のガイダンス 授業の内容と進め方についての説明、バレーボールの歴史と概要（ルール、審判法）【富永梨紗子】			事前学修：シラバスを読み、本科目内容の確認と理解をしておくこと。（0.5h）事後学修：資料とノートを整理して、授業の内容についての理解を深めること。（0.5h）		
	2	パスの技術の習得1 オーバーハンドパス・アンダーハンドパスの理論と実習【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について動作の言語化を図り、参考文献等も利用して技術の理解と習得を図ること。（0.5h）		
	3	スパイクの理論と実習【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について動作の言語化を図り、参考文献等も利用して技術の理解と習得を図ること。（0.5h）		
	4	サーブ・サーブレシーブの理論と実習【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について動作の言語化を図り、参考文献等も利用して技術の理解と習得を図ること。（0.5h）		
	5	ブロックの理論と実習【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について動作の言語化を図り、参考文献等も利用して技術の理解と習得を図ること。（0.5h）		
	6	基礎技術の習得 実技試験（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について動作の言語化を図り、参考文献等も利用して技術の理解と習得を図ること。（0.5h）		
	7	基礎技術の応用（テクニクとスキルの違いを理解する）実技試験（対人レシーブ）【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について動作の言語化を図り、参考文献等も利用して技術の理解と習得を図ること。（0.5h）		
	8	指導方法 実技指導の方法【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について、参考文献等も利用してフォーメーションの理解と知識を深めること。（0.5h）		
	9	指導方法 チームづくり【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について、参考文献等も利用してフォーメーションの理解と知識を深めること。（0.5h）		
	10	指導方法 ゲーム運営と評価方法（スカウティングを知る）【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について、参考文献等も利用してフォーメーションの理解と知識を深めること。（0.5h）		
	11	リーグ戦の実践と運営【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、審判に着目した具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について、ルールブックや参考文献等を利用して理解と知識を深めること。（0.5h）		
	12	リーグ戦の実践と運営【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について動作の言語化を図り、参考文献等も利用して個人技能の理解と習得を図ること（0.5h）		
	13	トーナメント戦の実践と運営【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について、参考文献等も利用して様々なフォーメーションの理解と知識を深めること。（0.5h）		
	14	ソフトバレーボールの基本技術の理解と習得【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について動作の言語化を図り、参考文献等も利用して個人技能の理解と習得を図ること（0.5h）		
	15	ソフトバレーボールのリーグ戦（ゲームとまとめ）【富永梨紗子】			事前学修：文献資料やインターネット等の動画資料も活用し、本時の課題についての具体的なイメージをつかんでみること。（0.5h）事後学修：授業で取り上げた課題について動作の言語化を図り、参考文献等も利用して後々々な技術の理解と習得を図ること（0.5h）		
成績評価方法	授業中の意欲と態度および技能についての形成的評価（40%）、授業内に行う実技テスト（30%）、レポート（30%）ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）			ISBNコード			
	必要に応じて資料を配布する。						
参考書	日本バレーボール協会編 バレーボール指導教本（大修館書店）			446926550			
	福原祐三 鈴木理 バレーボールの授業づくり 大修館書店			9784469265859			
	日本バレーボール協会編著 バレーボール6人制競技規則 日本バレーボール協会						
教員からのメッセージ	バレーボールに関する知識と体験を深め、様々な技術が「わかる」、「できる」、「つたえられる」人になり、楽しくバレーボールが実践できる力を身につけてほしいと思います。						
教員との連絡方法	授業の前後に、直接連絡をしてください。						
実務経験のある教員							